

導入進む携帯電話でのイントラ接続 『J-スカイアクセス』がセキュリティ問題を解決

厳しい経済環境の中、企業にとって生産性向上やコスト削減は重要な課題だ。その解決策のひとつであるIT化において、社内の業務環境を屋外に持ち出せるモバイルソリューションへのニーズが高まっている。この分野では利便性とセキュリティという相反する要素が必要とされる。そこで、日本テレコムは、グループ会社J-フォンが提供する携帯電話サービスの特性を生かしたセキュアドネットワーク環境を構築し、高まる企業ニーズに応えている。

携帯電話端末の7割超を占めるまでになったブラウザホンを利用して、イントラネットへアクセスするモバイルソリューションが注目を集めている。

先行導入した企業からは、外出先から顧客情報や在庫情報の確認が可能となり、生産効率向上に成功したという報告が次々に寄せられている。

しかし、外部から社内イントラネットへ直接アクセスするモバイルシステムでは、不正アクセスや顧客情報漏洩などの危険にさらされる。このため、導入に二の足を踏む企業も少なくない。

日本テレコムでは、こうしたセキュリティの課題を解決するサービスとして、『J-スカイアクセスセキュアドネットワークサービス』を法人に提供している。J-フォン携帯電話端末のJ-スカイ(インターネットアクセス機能)を利用して、ユーザー企業のイントラネットへセキュアな環境で接続できるサービスだ。

J-スカイアクセスの最大の特徴は、

携帯電話単体でインターネットを経由せずに社内のイントラネットへアクセスできる点だ。アクセス制御を行うJ-スカイアクセスセンターと企業を専用線やフレームリレーサービス「LASER EXPRESS」、IP-VPNサービス「SOLTERIA」などで接続し、高いセキュリティ環境を実現している。

SSLの限界

今後、携帯電話でもインターネット経由でのセキュリティ対策として、SSL (Secure Sockets Layer) 技術が注目されるが、SSLは通信の暗号化と認証を通じて第三者からのデータ盗用や改ざんを防止することが目的。このため、ハッキング対策として別にファイアウォールの設置や、日々のセキュリティホール修正などの対応が必要であり、企業の情報システム部門は、システムの運営や管理に労力とコストをかけなければならない。

そうして多大なリソースを投入しても、インターネット網を利用する以上はハッキングの可能性を完全に避けることはできない。

J-スカイアクセスでは、「J-フォンの携帯電話網+日本テレコムの企業向けネットワークサービス」という閉域ネットワークを構築することで、こうした課題を解決しているのである。

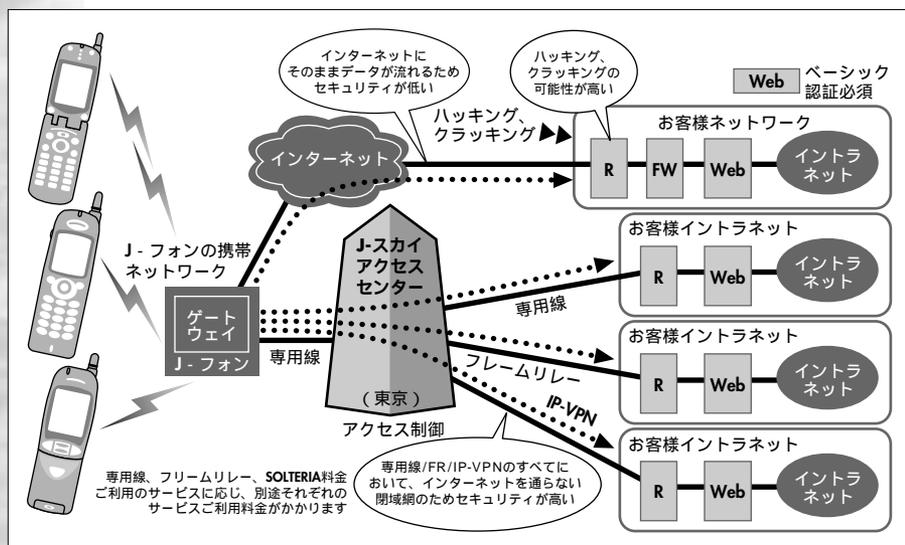
決め手は端末認証サービス!!

さらに、セキュリティ対策の強化として、携帯電話が持つユニークな端末識別子を使った端末認証サービスがオプションで用意されている。携帯電話でワンタイムパスワードを導入するケースもあるが、認証用カードを携帯する必要があったり、ログインIDやパスワードを入力するなどの手間もかかる。同社の認証サービスでは、オートメモリ機能やパスワード入力リクエスト機能など、複数の機能を組み合わせることで、利便性を損なうことなく高いセキュリティレベルを維持できる。

こうしたサービスを1社で提供できるため、初期費用や月額利用料などのコストが低いのも魅力だ。すでに、金融や保険、証券関連など高いコスト効果とセキュリティが必要とされる企業で導入されていることもJ-スカイアクセスの完成度の高さを物語っている。

お問い合わせ

日本テレコム株式会社
モバイルソリューション部
担当: 繁富 / 内田 / 中嶋
TEL : 03-5540-8101
E-mail : mo-solution@japan-telecom.co.jp



日本テレコムのJ-スカイアクセス(セキュアドネットワーク)